

風を感じて No. 330

R3.12月

降る雨も一層冷たい季節となりました。
皆様いかがお過ごしでしょうか。

年末年始の発送について 佐川急便さんの話では、12月に入り荷物の量が急増したこと。到着の遅れが生じる可能性がありまので御注意下さい。

年末 12月26日(日)を最終とさせて頂きます。1月1日着予定の方は、26日に1月分を送らせて頂きます。数量に変更がある方は遠慮なくお知らせ下さい。

年始 R4.1月5日(水)から、発送を開始させて頂きます。

すでにお知らせをさせて頂きながら、来年から、送料等の値上げをさせて頂くことになりました。後継者がこれからもずっと続けていけるように、と苦渋の決断をして、次第です。申し訳ない気持ちでいっぱいですが、どうか御理解頂きますよう。(ひより) お願い申し上げます。

(麦) 翻耘を終えて後(①)、11月19日から、麦の種播き



が始まりました。(②)

そこと同時に冬へと一気に
移り変わり、気温も
グッと下がり始め、
芽を出すまでに時間

を要しています。それでも、種播きを終えることができホッとしています。今年の冬は、気温が低目の予想となっていましたので、麦の生育は鈍くなりそうですが、寒さに耐えて頑張ってくれることでしょう。 (大)豆の収穫も無事終りました(③)。乾燥した後、これから機械で、大粒、中粒、小粒、クズ、に選別します。その後は、手で「大粒」に選別し、商品として袋詰めする際は、手で「細かく」選別します。新大豆をお待ちの方へたくさんいらっしゃいますが、もうしばらくお待ち下さい。



鏡もち… お正月に鏡もちを飾るのはなぜでしょう… おもちは、稻の靈が宿る神聖なもので、それを食べる人には力が与えられると考えられていました。昔話に、「ある長者が」おもちを的の代わりにして矢を放つたら、おもちが白鳥に姿を変え飛び立ち、長者が貧乏になつた、というのがあります。おもちを神聖なものとして扱うようになつた話の一つです。鏡もちは、豊作や一年の健康や幸せを祈って供えてきました。作物がよく実らないと、食べるものがなくて飢え死にしてしまいます。それでお正月の鏡もちには、人々のこうして願いが込められているのです。

神社に行くと、御神体に金属ででき丸い鏡が祭られています。あれは神鏡といいて、神様が宿すところだといわれています。それで、年神様にお供えするおもちも、神鏡のように丸い形にしています。

又、年本や先例と見比べて、考えることを「鑑みる」といいますか、この諺の意味にあやからうと、「かみがみもち」と言っていたのが変化して鏡もちになつた、という説もあります。

鏡のよう丸くしてもちを重ねて飾りますか、地域によって重ねる数が2枚ばかり3枚ばかり、紅白にしたり、と違います。2枚、といつのは「月」と「日」で、月日を重ねて1年を2でなく過ごせるように、という願いが込められています。それに丸い形には家庭円満も表しています。

鏡もちの上には、今は温州ミカンのせまいが、昔は、タツダイ、といって夏ミカンより小目のかんきつを使っていました。タツダイは、実は冬に秋にかけて色になつても春にはまた緑色っぽくなり、次の年の秋になると実が落ちません。「家が代々栄える」という語呂合わせの縁起物として使われました。

来年の豊作と幸せを願って鏡もちを飾りたいものですね。

今年や世界中がコロナに影響され、終わらぬ見えない状況がいつまで続くのか… 来年こそは、明るい話題いっぱいの年であって欲しいものです。

我が家では、8月に孫が一人増えました。まだ、家族みんな病気もせず、元気に過ごすことができました。ありがたいことです。

そして何よりも、皆様に支えて頂いたお陰で今宵も無事に過ごすことができましたこと心より感謝申し上げます。皆様どうぞ健康に留意され、良い年をお迎え下さい。本当にありがとうございました。

